

今年は九州がいち早く梅雨入りとなりました。じめじめした季節に入りますね。
水分補給をこまめにし、熱中症にも気を付けていきましょう。
学年通信を発行します。

それ、ほんとうに当たり前？ AIが語る、少し不思議な世界（学年部長 岩永先生）

みなさんは、「AIで小説を書く」って、どんなことだと思いますか？
ゴールデンウィーク中に、実際にAIを使って小説を書いてみました。しかもただの短編ではなく、文庫本3冊分にもなるような長編小説です（別にゴールデンウィーク中に遊ぶ友達がいなかったわけじゃないんだから！）物語の主人公は、高校1年生の男の子。彼と、同じクラスの2人の仲間、合計3人の高校生たちが、徐々に不思議な世界に巻き込まれていくというお話です。

この小説の制作を通して、AIの面白さと、ちょっとしたクセのようなものにも気づいていました。そして今回は、それをあえて深く探究してみました。たとえば「ハルシネーション」という現象。聞いたことがありますか？

ハルシネーション（hallucination）とは、もともとは「幻覚」を意味する言葉ですが、生成AIの世界では「それっぽいきど事実とは違うことをもっともらしく語ってしまう」現象を指します。つまり、AIが嘘をついてしまうような場面ですね。

実際にこんなことがありました。主人公が男性であるはずなのに、ある場面で突然「あら、あなただって、そうじゃないのよ」と女性のような口調で話し出したのです。「あれ？」と思って、「主人公は男ですよ」とAIに伝えると、「すみません、確かにその通りです」とすぐに修正されました。これまでは「まあ、AIだから仕方ない」と流していましたが、今回は立ち止まって考えてみました。なぜ、AIはこうした“ズレ”を起こすのか。

AIには“物理的な世界”がありません。私たちは三次元の空間と、時間という流れの中で生きていますが、AIはそうではないのです。五感もなく、身体もなく、ただ文字情報や画像を通してしか世界を知ることができません。だから、名前や性別のような人間にとっては重要な情報も、AIにとっては“そこまで大事じゃない情報”になることがあります。たとえば、小説の中で登場人物の名前が途中から変わってしまっていたこともありました。

私たちにとっては「当たり前」の感覚や価値観が、AIにとってはそうではない。そんなズレに気づいたとき、私は「AIは本当に別の世界に生きているんだな」と感じました。こうした課題に対して、今は新しい進化の波が来ています。

ちょうど先日5月19日、台湾・台北で開かれた世界的テックイベント「COMPUTEX」でNVIDIA（エヌビディア）という企業のCEO、ジェンスン・フアン氏による基調講演が行われました。

あまり聞き慣れない企業かもしれませんが、実はこのNVIDIA、2024年にはAppleやMicrosoftを一時的に抜き、世界で最も時価総額が高い企業になったことがある、今最も注目されているテック企業のひとつです。

NVIDIAはもともと、ゲームや映像処理向けに高性能なGPU（Graphics Processing Unit）を開発していた会社です。そのGPUは画像をすばやく処理するために「並列処理」に強く、その特性がAIの学習に非常に向いていることから、今ではChatGPTのような生成AIの計算処理にも欠かせない存在になっています。

今もNVIDIAはGPUを作り続けていますが、その活躍の場は、ゲームの世界だけでなく、AI、ロボティクス、スーパーコンピュータ、そして自動運転車にまで広がっているのです。

ジェンスン・フアン氏は「AIが現実世界を理解し、感じるようになる未来」について語りました。キーワードは「フィジカルAI（Physical AI）」や「AI for Robotics」です。

たとえば、現実そっくりの仮想空間を作り、その中にAIの頭脳を持ったNPC（登場キャラ）を配置して、動かしたり、学習させたりする。AIが「見る」「触れる」「動く」などの物理的（Physical）な感覚を学ぶようになってきているのです。

さらに、自動運転車に搭載されるAIの話もありました。NVIDIAは「DRIVE Thor（ドライブ・ソー）」という車載AIプラットフォームを発表し、クルマがまるで“人間のように”判断して運転する未来を現実に行うとしています。自動車の中で、ナビ、エンタメ、AIアシスタント、さらには運転そのもののまでをひとつのAIでコントロールする。まるで“車が考えて動く時代”がやって来ようとしています。

今まで私たちは、AIがズレたことを言っても、「しょうがない」と思ってきました。でもそれは、AIがこの世界を“身体を通して経験していない”からです。

では、AIが現実を見て、動いて、感じるようになったら……
私たちと“感覚”を共有できるようになったら……
今度は、「AIは感情を持つのか？」という議論が主流となり、来年の今ごろには、「AIと“共感”できるか」について議論しているかもしれません。

私たちは、AIという新しい知性ととともに、これからの世界をつくっていきます。その知性は、時に私たちの常識を揺さぶり、不思議な問いを投げかけてきます。

AIと一緒に考える未来は、きっと「答え」ではなく「問い」から始まります。その問いの先に、きっと、あなたにしか見えない未来があります。

<1学期前半の生徒の様子と学年の取り組み>

高校生活が始まって2か月が経ち、生徒たちは新しい環境の中で、落ち着いた様子で学校生活を送りながら、各自の活動に意欲的に取り組んでいます。

5月には、LAPで社会課題を扱ったドキュメンタリーをきっかけに、グループでの協働を通して思考を深める活動が行われました。ISPでは毎木調査をもとに、生徒たちが自主的に新たな提案をしながら、協力して作業を進める姿が見られました。IEPではスタートアップ企業や学生起業家の事例に触れ、社会の動きや自分自身について考えるきっかけとなったようです。

クラス内では、グループワークなどを通して人間関係も広がり、もともとの友人関係にとどまらず、新たなつながりが生まれています。考查に向けて、互いに声をかけ合いながら学びに励む姿も頼もしく感じられます。

また、登校に関しても中学校の頃と比較して大きく改善が見られ、生活のリズムが整ってきている印象です。少数ではありますが、朝の時間が8:15の着席ギリギリになってしまう生徒もおりますので、引き続き声かけと見守りを行ってまいります。

生徒たちが安心して過ごせる環境づくりを大切にしつつ、学年内での方針の共有と連携を重ね、日々の指導に一貫性と丁寧さを持たせるよう努めております。昨年度までの取り組みや指導の中で見えてきた課題もございます。それも踏まえ、今年度は新たな体制のもと、よりよい学年運営を目指してまいります。

今後とも、生徒たちの学びと成長を支えるため、ご家庭との連携を大切にしながら取り組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



6月		
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	学年ランチ(A, B, C, D組)
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	学年ランチ(E, F, G組)
13	金	
14	土	保護者会
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	6限 文理選択ガイダンス
19	木	
20	金	
21	土	短絡授業・午後第1回オープンキャンパス14:00～
22	日	
23	月	参観授業
24	火	
25	水	
26	木	高校模試日
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

【今後の予定】

＜文理選択ガイダンスについて＞

6月18日の6限は、高校2年時に向けての文理選択ガイダンスを行います。現在皆さんは、毎週水曜日の朝読書で、進路について知見を広めている所だと思います。自分がどんなことに興味があるのか、どのような人になりたいのか、しっかり考えてください。どうしよう？と悩むことも重要です。夏休みは大学のオープンキャンパスへ行く課題もあります。自分の進む道を真剣に考えてみましょう。

ガイダンスは2つの部署からお話があります。最初は学習進路部から、次に教務部からです。

学習進路部からは、次年度からの文理や科目の選択についての考え方をお伝えします。

教務部では文理選択のおおまかな流れをお伝えします。文理選択の用紙を2学期の初めに、皆さんに提出してもらいます。夏休みによく考え、保護者の方とも確認しながら、進路の方向を決めてください。

＜6月14日（土）保護者会についてのご案内＞

6月14日（土）に開催予定の保護者会について、5月19日に安心でんしょばとにてご案内済みですが、改めて学年通信にも掲載させていただきます。

- ◆ 日時 6月14日（土）14:00～15:00
- ◆ 会場 各クラスの教室
保護者証をご持参の上、直接お嬢様のクラスの教室までお越しください。
※各クラスの教室番号は以下の通りです。
A組：161、B組：162、C組：163、D組：165、E組：166、F組：167、G組：168

- ◆ クラス交流会について
すでにアンケートを通じて多くのご意見を頂いております。ありがとうございます。
当日の交流会では、頂いたご意見の中から多く寄せられたテーマを中心に進行させていただく予定です。すべてのトピックを取り上げることは難しい点、何卒ご理解いただけますと幸いです。

なお、当日に以下も実施します。
※詳細は安心でんしょばとで連絡をしております
◇IEPコース：アメリカ研修説明会
13:30～15:00 生徒のみ：事前研修
15:00～16:00 生徒・保護者対象：事前説明会

◇オーストラリア語学研修 第2回説明会
13:15～13:50（EI大教室）

＜教育実習生が来ます＞

6月2日から21日まで教育実習生が来ます。皆さんの先輩になりますが、公私を混同しないようにしましょう。また、在学中のお話や、大学生活のことを聞ける機会でもあります。ぜひ興味があることがありましたら、聞いてみてください。

＜SusHi Tech Tokyo報告＞

高等学校の参加は全国初の校外学習。生徒の皆さんは社会を変えるポテンシャルを持つ最先端のテクノロジーや、持続可能な社会を構築する世界規模のアイディアに直接触れることで、「これからの社会で自分はどう生きていくのか。自分とは何か」を考えるきっかけ作りができたようです。イベントで得た知見や起業家とのネットワークが、今後の学びに拍車をかけることでしょう。

【皆さんの感想】

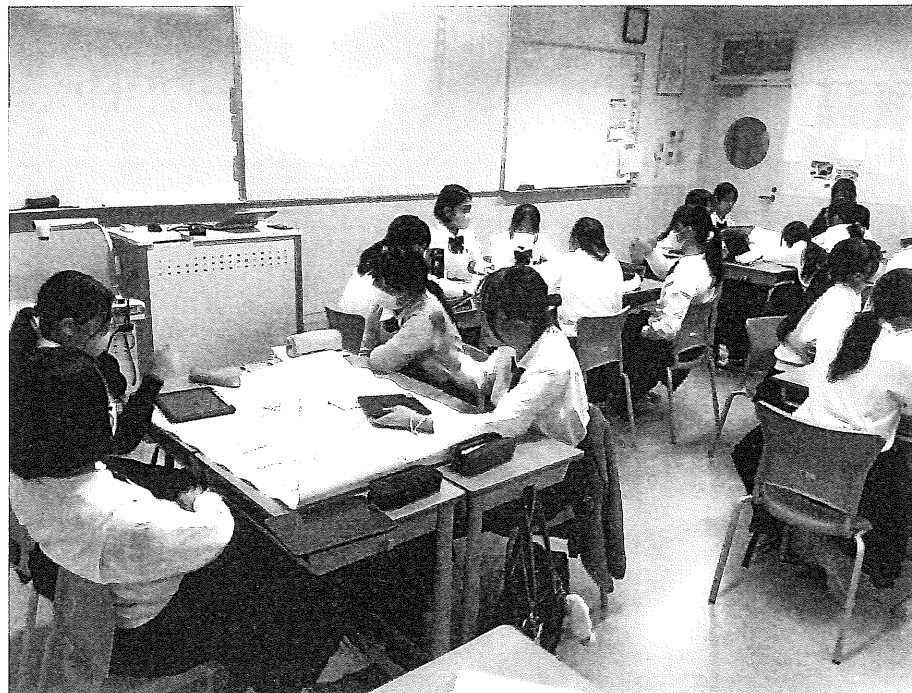
- ・今回の校外学習では普通の学生だったら得られない経験ができました。私はスタートアップやビジネスに関わるような場所は今回が初めてで、味わったことのない緊張感と新鮮味を感じられました。sushi techに行けて良かったです。
- ・私たちは、ITAMAE（大学生有志団体）でお話をされていた学生の方がとても輝いていると思いました。自分の好きなものに全力で追求できる心構えは全員に刺激を与えてくれたと思います。初対面の学生と交流しその人の生き立ちや目標を意見交換しあい、相手の立場になって考えてみる新しい視点も見えました。
- ・国内外に関わらず、色々なブースがあり、いくら時間があっても回りきれないほどの会社がありました。スイス、イスラエル、ラトビア、東北地方や北海道など各国どれも国際色豊かで面白かったです。スタートアップ企業は斬新で新しい発想が多くとても興味深かったです。



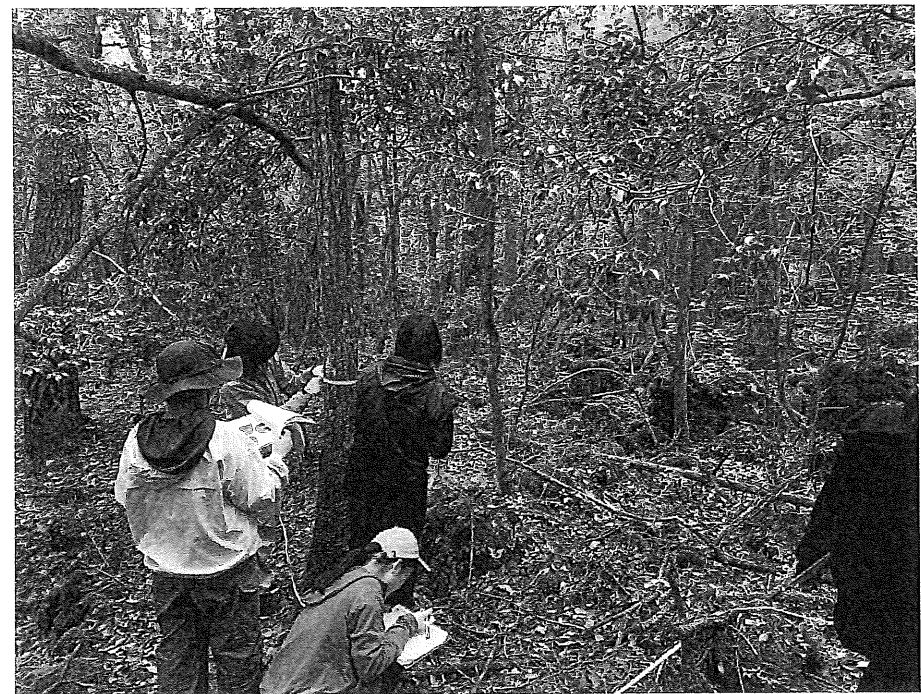
<ドキュメンタリー講座(映像制作探究講座)の進捗について>

LAPコースでは、HRの時間を使ってドキュメンタリー講座に取り組んでいます。中学までのドラマエデュケーションでは自己表現や傾聴の仕方などを学ぶことを通じて、クラス内のチームビルディングを図ることが目的でしたが、高校のこの講座では校外へ目を向け、社会課題の解決策を映像を通して表現することに挑戦しています。

(一社)日本文化教育連盟から講師の方々を招聘し、ドキュメンタリーとは何かを学び、グループ毎に映像作品にするテーマ(社会課題)を決定しました。現段階では、テーマをどのように映像作品に落とし込むかの企画やそのテーマの解決策を考え、映像化のために必要な素材や取材先リストを挙げていくところまで進みました。今後は、映像作品の絵コンテの作成や、取材やインタビュー・ロケを行う場合はその手配をすること、中間発表を挟んで、実際に撮影を行う際の基礎的な技能の習得などを実施していく予定です。そして、文化祭での上映とその振り返りをして、この講座は完結となります。



・周りをちゃんとみて効率良くするために自分は今何をしたらいいのか考えて行動する、ということを経験したので研究活動でも活かしていきたいです。具体的には研究の仲間が今何をしていて何に困っているのかなどをちゃんと見極めて行動したり、どんな行動をしたら効率良く研究できるかを考え活動していったりたいです。また、データの取り方は研究活動のみならず社会に出てからも必要となると思うのでその場面でも活かしていきたいです。



<小論文>

ISPコースとIEPコースでは6月4日(水)、LAPコースでは6月6日(金)の6限に第1回小論文テストを実施します。通常60分実施のところ、今回は授業1コマ50分間で実施をしますので、中間考査最終日5月31日に問題の内容をclassroomであらかじめ共有し、テスト当日までに論理的な文章が書けるよう準備をしてきてもらいます。テストは7月11日(金)に返却予定です。

<課題図書>

LAPコースで毎週金曜日の朝読書の時間には、課題図書を読み進めています。現在の課題図書『富士山のふしぎ』を読み終えた後は、全コースで進路に関する本の一覧の中から、各自の興味・関心に応じて選んだ本を読み進めます。お手数をおかけいたしますが、お嬢様が選ばれた本を6月20日(金)までにご購入いただきますようお願いいたします。電子書籍もございますが、朝読書の時間はiPadの使用時間を減らすため、紙の書籍をおすすめしております。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<授業参観について>

6月23日(月)～6月25日(水)は授業参観があります。学校の授業風景やお嬢様方の学校生活をご覧頂ける機会となります。ご都合がございましたら、ぜひ来校して頂きたいと思っております。なお、来校時は、保護者証をご持参くださいますよう、お願いいたします。

6月25日の6限目はHRとなり、各コースごとに内容が異なります。大まかな内容については以下に掲載いたします。ご参照ください。

【LAPコース】ドキュメンタリー講座(映像制作探究講座)の中間発表をする予定です。

【ISPコース】富士山の調べ学習の発表会を行う予定です。

【IEPコース】海外生活経験のある社会人をお招きし、トークセッションを行う予定です。

<ISP【5月】富士山研修報告>

富士山科学研究所の敷地内にある森で自然物の数値データをとる実習を行いました。今回は、「毎木調査」という調査活動を体験しました。足元の不安定な環境の中、生徒たちは協力しながらメジャーを使って30m×30mの正方形を作成しました。まっすぐ進むだけでも大変な場所でしたが、互いに声をかけ合いながら進む姿から、普段の授業とはまた違った一面やたくましさを感じられました。自然の中での学びを通じて、仲間と助け合う力や前向きに挑戦する姿勢が育まれていることを改めて感じました。7月の富士山研修での調査活動で今回の経験を活かしたデータ採集ができることを期待しています。また、今後の研究活動でデータをとる際に今回の経験を参考にしてほしいと考えています。

【体験した感想】

・数学で習ったx座標とy座標が毎木調査に使われてるということにびっくりしました。普通に長さや直径を測るのではなく、地面から130センチなど色々ルールがありました。中野先生が木を見ただけで何年目の木か推測していたのが面白いと思いました。

・今回の毎木調査は各グループで行ったものでした。その中で、メンバー1人1人がそれぞれ自分の役割を認識して果たしていたので、調査がスムーズに進んだと思いました。今回は特に、自分達で責任を持って役割分担を行ったので良い経験が詰めたと思いました。